

## 首都圏分譲マンション市場

### 13年上期を振り返る

不動産経済研究所(新宿区)がまとめた2013年上期(1~6月)の首都圏分譲マンション市場動向によると、上期の供給戸数は2万4299戸で、前年同期に比べ17.1%増えた。初月契約率の平均は1・2ポイント上昇し78・8%だった。数字を見ると、市場の好調ぶりが分かるものの、分譲を手掛けるデベロッパーからは先行きについて楽観的な意見はほとんど聞かれない。建築費の高騰

など事業を取り巻く環境は厳しさを増すばかりといふ。首都圏分譲マンション市場動向によると、上期の供給戸数は2万4299戸で、前年同期に比べ17.1%増えた。初月契約率の平均は1・2ポイント上昇し78・8%だった。数字を見ると、市場の好調ぶりが分かるものの、分譲を手掛けるデベロッパーは、先行きについて楽観的な意見はほとんど聞かない。建築費の高騰

マンション市場調査、コンサルティング会社・データーブレイン(港区)の久光龍彦社長は、リーグに対する国民の期待感

## 販売好調も、悩みは尽きず…

9月に始まる。「来場予約は常に満杯」(旭化成不動産レジデンス)。販売環境が改善したところ、デベロッパーは在庫を減らしている。三菱地所(千代田区)の6月

顧客の好立地志向を受けて都心での供給を加速したい意向だが、銀行用地売却の入札業務を手掛ける担当者は「(取引)市場にはマンションに適する用地が少な

い」と指摘する。企業社宅など利便性が高い整備など総合的な街づくりが進む。東京スカイツリーを間に望むこのエリアで「アトラスタワー曳舟」販売の登録受付が

13年前半は「市場に勢いが戻りはじめた」(久光氏)。後半も勢いは続いた。(大手デベロッパー幹部)。物件の減少に伴い入札案件では競合が増える。高値落札がコスト高という事

い」と指摘する。企業社宅など利便性が高い整備など総合的な街づくりが進む。東京スカイツリーを間に望むこのエリアで「アトラスタワー曳舟」販売の登録受付が